



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2017

No. 36 (平成29年12月4日発行)

佐高 インスパイア ファイル

## 特集：附属中学生の活躍

### 栃木県中学校英語スピーチコンテスト ～江部君、2年連続最優秀賞

11月7日(火)、第27回栃木県中学校英語スピーチコンテストが栃木県庁で行われ、本校から佐野市の代表として2名の生徒が参加し、素晴らしいスピーチを発表しました。その結果、2年生の江部青飛君が最優秀賞(2年連続)、1年生の岸愛梨さんが優良賞に輝きました。

【江部青飛君】2年連続の受賞で改めてトロフィーの重みを実感しました。今回は「未来の医療」をテーマにスピーチしました。AIの発展によって、医療が進化していく中で、人間の役割とは何かを考えました。日々練習を重ね、本番では自信を持って落ち着いて臨むことができました。会場の皆さんに自分の思いを伝えることができましたと思います。これからも英語を磨き、努力していきたいと思ひます。

【岸愛梨さん】私は、「将来の夢」をテーマにスピーチしました。初めは、これまでの経験や自分の考えを英語でうまく伝えることができず不安でしたが、何度も練習を重ねた結果、自信を持ってスピーチすることができました。



### 「新聞を読んで」感想文コンクール ～相田さん、最高賞(下野会賞)に輝く

11月18日(土)、同コンクール(下野新聞社、下野新聞下野会主催)の表彰式が行われ、7名の生徒が入賞・入選し表彰されました。また、佐高附属中が2年連続で学校賞を受賞しました。

【中学校1年生の部】◎優秀賞 山本愛美さん ○優良賞 鶴貝悠生君 入選 慶野正汰君  
【中学校2年生の部】☆最優秀賞(下野会賞) 相田紘夏さん ○優良賞 八田愛李さん  
【中学校3年生の部】○優良賞 大川明日香さん 入選 藤沼伸君

【相田紘夏さん】とても光栄に思ひます。現代では新聞よりインターネットを用いて情報を得る人が増えていますが、新聞は自分の知りたい情報の他に、知っておくべきことがあることに気づく、という良さを改めて学びました。

【山本愛美さん】私は、母が大学生の時の教授でもあり歌人でもある岡野弘彦さんの体験した戦争についての記事を選びました。表彰式で審査員の先生が「その記事でしか伝えられないことは何か」とおっしゃったことが強く印象に残っています。

【八田愛李さん】今回の受賞で自分に自信がつけました。また、新聞に対する関心が深まりました。

【大川明日香さん】私はヒアリに関する新聞記事を比較し、新聞によって重要さが違っていることなどに興味を持ちました。

【鶴貝悠生君】世界陸上の記事から感じたこと、考えたことを文章にしました。

【藤沼伸君】私はAIの記事を選びました。人工知能と人間の関わり方を考えるきっかけとなりました。

【慶野正汰君】私は、花火大会での見物客のマナーについて考えました。趣味の登山で学んだ、地球環境の大切さを多くの人たちに考えてもらいたいと思ひました。



## 税についての作文 ～佐野市長賞、佐野税務署長賞等、5名受賞

11月13日（月）、ホテルマリアージュ仙水で、「平成29年度 納税表彰式」が開催されました。「税についての作文」で本校生5名が受賞しました。

- 中3：小松原大靖くん「栃木県納税貯蓄組合賞」
- 中2：山崎理紗子さん「佐野税務署長賞」
- 中3：出井樹利亜さん「栃木県安足県税事務所長賞」
- 中3：大川明日香さん「佐野市長賞」
- 高1：大芦さくらさん「佐野税務署長賞」



式の最後に、受賞者を代表して、高校生の大芦さんが作文を朗読し、表彰式に華を添えました。

【小松原大靖君】「私は日本の未来と税金というテーマで作文を書きました。税金が日本の未来をつくっていくことを改めて考えました。」

【山崎理紗子さん】このような賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。税についての関心が深まりました。

【出井樹利亜さん】私は地球温暖化対策のために使われる森林環境税について作文を書きました。税金がよりよく使われる未来を目指し、税金にもっと関心を持ち続けたいです。

【大川明日香さん】市長さんから直接賞状を頂けたのは本当に光栄です。将来はふるさと納税を体験してみたいと思いました。

【大芦さくらさん】作文の朗読後、多くの方から声をかけていただきました。今後も身近な税について理解を深めていきたいと思いました。

## 第7回全国中学生英語ディベート大会 ～全国総合5位

10月22日（日）、名古屋市の中京大学で「第7回全国中学生英語ディベート大会」が開催されました。本校から1チーム（5名）が参加しました。全国から14チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

- 附属中〇—● 広島大学附属福山中学校
- 附属中●—〇 加藤学園暁秀中学校
- 附属中〇—● 洛南高等学校附属中学校



附属中チームは、強豪校がひしめく中、2勝1敗で総合5位と健闘しました。

【小川莉歩さん】全国規模の大会だったのでとても緊張しました。しかし、いざやってみると、事前に準備した資料を使って戦うのが、とても楽しかったです。

【荻原彩加さん】英語でのディベートは聞いたり話したりすることが難しく大変でした。普段使わない単語ばかり使うので難しかったです、とても勉強になりました。

【奥海七さん】他の中学生との英語力の差を見せつけられたので、これからも頑張っていきたいです。

【兵藤かほるさん】英語ディベートを通して、英語力の向上につながりました。また、大会では英語力の差を感じながらも全国5位という結果を残すことができ良かったです。

【若田部菜桜さん】最初は分からない単語も多く苦労しましたが、仲間たちと支え合いながら練習してきました。本番ではその練習の成果を発揮できたと思います。応援してくださった方々に感謝します。

## 第45回栃木県学校音楽祭中央祭 ～金賞：中学校合奏、銀賞：中学校合唱

10月24日（火）、宇都宮市文化会館で開催された同大会に、吹奏楽部が佐野市代表として参加しました。「ラッキードラゴン ～第五福竜丸の記憶～（福島弘和作曲）」をダイナミックに演奏し、見事「金賞」を受賞しました。23日（月）に予定されていた合唱は、台風21号の影響のため中止となりましたが、テープ審査の結果、「銀賞」を受賞しました。

【合奏：中山美千花さん】約半年間かけて作り上げた集大成を中央祭で奏でることができ嬉しく思うと同時に、達成感を強く感じました。この仲間たちと頑張った練習があったからこそ有終の美を飾ることができたのだと思います。部長として感謝の気持ちでいっぱいです。

【合唱：三好萌結さん】中央祭はテープ審査になってしまいましたが、全員で全力を出せたので悔いはありません。応援ありがとうございました。

